

Satsumasendai City Public Relations

薩摩

広報

川内

さつま sendai

10

October:2020
vol.384

夢と希望の甕大橋開通
懸け橋



甌はひとつへ

夢と希望の懸け橋

甌大橋 開通



さあ、
ワクワクを
始めようか

甌大橋概要

事業主体 / 鹿児島県
 総事業費 / 約320億円
 橋部分は230億円
 事業化決定 / 2006年度(平成18年)
 着工(橋梁) / 2014年度(平成23年)
 開通日 / 令和2年8月29日
 全長 / 1533m(県内最長)

上甌島・中甌島・下甌島の3島からなる甌島列島。

このうち、上甌島と中甌島は、鹿の子大橋(平成3年完成)と甌大明神橋(平成5年完成)でつながっていましたが、下甌島は、つながっていませんでした。

しかし、甌島四村の将来的な観光振興や医療体制の充実などの観点から、中甌島と下甌島をつなぐ橋の完成は島民の悲願でもありました。

平成3年に、甌島で架橋建設促進期成会が発足し、以降、国・県への継続的な要望を続けてきました。

平成18年、その継続的で熱意のある要望を受け、ついに県による事業化が決定。

平成23年に着工した夢と希望の懸け橋は、蘭牟田瀬戸特有の複雑で速い潮流や台風の影響を受け、難航する建設作業の中で、当初の予定より2年遅れたものの9年の時を経て、ついに完成そして開通を迎えました。

これにより、「甌はひとつ」が実現したのです。



開通式典では、塩田康一県知事の式辞をはじめ、岩切秀雄市長ら関係者のあいさつの後、観光大使の塩田浩一さん、ドラクドドラゴン塚地武雅さんや島民の皆さまから寄せられたビデオメッセージが放映されました。

開通セレモニーで、親子三代渡り初めに参加した下甕町の江口健三郎さん、和子さん夫妻は、「ただ、うれしい。これからお互いへの行き来も盛んになると思う」と話し、その子どもでもある照明さん、玉美さん夫妻は、「島内間の交流が盛んになることは間違いない。終わりではなく、ここからがスタート。気を引き締めてがんばらないといけない」と話してくれました。

そして、その孫である川路明さん、雄太さん夫妻は、「小さい時には考えもしなかった。いろんな所に行つて子どもと楽しみたい」と橋の完成を喜びました。

また、8月23日(日)には、「壱大橋開通記念プレイベント」が開催されました。

イベントでは、甕島で活躍する彫刻家、純浦彩さんが、ウミネコと甕島の地形をモチーフに制作した親柱のミニメントが初披露され、約500人の島民がウォーキング大会で渡り初めを楽しみました。

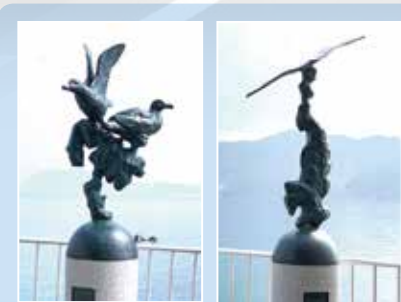


歓喜に沸く 壱島列島

壱大橋の完成により、壱島の観光振興は加速し、島内間の交流も盛んになることが期待され、住民の生活にもさまざまな変化が想定されます。

8月29日(土)は、「壱大橋開通式典」が開催され、オープニングセレモニーでは、下甕島側の伝統芸能として「鹿島太鼓」が上・中甕島側から、中甕島に唯一存在する集落である上甕町平良の「大敷ばやし」が披露されました。

鹿島太鼓を指導する橋野恵子さんは、「時間をかけて作った橋がついに完成した。この橋が架かっている蘭牟田瀬戸は波の高い所で、その状況から『瀬戸のうず潮』という曲ができた。その曲をこんな機会にここで披露できるなんて、こんな喜ばしいことはない」と話されました。



◀壱大橋の両端を飾るミニメントは、羽を休めるウミネコと上・中甕島がモチーフ(写真左)と滑空するウミネコと下甕島がモチーフ(写真右)の2種類



▲8月23日 プレイベント ウォーキング大会



◀壱大橋を挟んだ30隻の船団パレード。島中の船が大漁旗をなびかせ一斉に走るさまは、圧巻の一言！



- 1 鶴穴 (下甑島鹿島町) 2 武家屋敷跡 (上甑島里町)・武家屋敷通り (下甑島下甑町)
- 3 瀬尾観音三滝 (下甑島下甑町) 4 甑大名神太鼓 (上甑島上甑町) 5 鬼火たきのほら貝吹き (下甑島鹿島町) 6 釣掛埼灯台 (下甑島下甑町) 7 ナポレオン岩 (下甑島下甑町)
- 8 長目の浜 (上甑島里・上甑町) 9 甑大明神橋 (上甑島上甑町) 10 ごったん演奏 (上甑島里町) 11 ウミネコ餌付け体験 (下甑島鹿島町) 12 ミッチリ草原 (下甑島下甑町) 13 甑島のトシドン (下甑島下甑・鹿島町) 14 「観光船かのこ」によるクルージング(上甑島上甑町) 15 甑ミュージアム恐竜化石等準備室 (下甑島鹿島町) 16 かずらたて (上甑島里町)



国定公園甑島

そう、その場所は

あなたはここで
心を激しく揺さぶられる

